

昭和二十五年十二月十四日提出
質問 第三五号

食糧の配給と供出制度に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年十二月十四日

提出者 横田 甚太郎

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

食糧の配給と供出制度に関する質問主意書

食糧の供出と配給制度は、戦時中から行われている悪いやり方であるが、政府はこの制度に根本的変革を加える意思はないのか。

若しあるとすれば、先ずどのような点を改め、いつ頃からそれをやるつもりか。

又農林、大蔵、安本三者一致の構想として「来年の夏作からの麦の供出をやめ、その結果同年十一月以降の麦の配給をも取り止めて、主食の供出と配給とは米だけにし、その米の配給量は一日一合五勺という目標にしたい」と決定して、ドツジ氏今次の滞日中に提出したが、政府はこれを実施する意思があるか。

右質問する。